

特集

ECMO を極める II

～ ICU 管理編～

今号では、2号連続特集企画「ECMO を極める」の後編として、「ICU 管理編」をお届けいたします。

前号（2020年2月号）の「ER 導入編」では、ECMO の歴史や構造から、適応・禁忌に関する知見、具体的な導入方法、日常管理やトラブルシューティングの方法など、まさに ECMO を極めるための“導入”として必要な知識を徹底解説しました。しかし、ECMO を極めるためには、さらなる可能性と課題が残されています。

外傷・中毒・妊産褥婦・小児など、ECMO の適応として応用的な症例での導入・管理法、考え方を学ぶことで、ECMO の可能性はさらに広がっていくかもしれません。また、リハビリテーションや看護・ケア、倫理的問題に関する知識を身に着け、さらには ECMO 管理の集約化や教育・トレーニングの現状も学んでおくことで、より適切な ECMO の導入・運用につながるでしょう。今号の「ECMO を極める II ～ ICU 管理編～」ではこのような、さらに踏み込んで“ECMO を極める”ための知識・知見を取り上げます。

1950年代から開発が始まり、段々とその適応・臨床活用が広がっていった ECMO。日々の臨床現場で参考としていただくことはもちろん、そのさらなる発展を考察し、より適切・安全・有効に ECMO を活用していくために、今回の2号連続特集が役立つことを願っております。

『救急医学』編集委員会

企画担当：筑波大学医学医療系救急・集中治療医学 井上 貴昭